# ベネズエラ情勢（内政・外交：令和２年４月）

## １　内政

### （１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

（ア）　１日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たに１名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１４４名，死者総数３名）。

（イ）　２日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たに２名の感染者と２名の死者が確認されたと発表（感染者総数１４６名，死者総数５名）。また，感染者全体のうち２９%が回復したと発表。

（ウ）　３日，マドゥーロ大統領は，新たに７名の感染者と２名の死者が確認されたと発表（感染者総数１５３名，死者総数７名）。

（エ）　４日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たに２名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１５５名，死者総数７名）。

（オ）　５日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たに４名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１５９名，死者総数７名）。

（カ）　６日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たに６名の感染者を確認したと発表（感染者総数１６５名，死者総数７名，回復６５名）。また，「ロ」副大統領は，タチラ州のシモン・ボリバル市及びペドロ・マリア・ウレニャ市において，６日より午後４時から翌午前１０時までの外出禁止措置を講じることを決定したと発表。さらに，コロンビアのククタ市からシモン・ボリバル国際橋を通じてベネズエラ（ボリバル市）に入国する全ての人は，症状の有無にかかわらず抗体検査を受けなければならず，検査の結果が陰性であっても，最低１４日間の隔離措置に従わなければならないとした。

（キ）　７日，マドゥーロ大統領及びデルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者１名が確認されたと発表（感染者総数１６６名，死者総数７名，回復６５名）。また，感染を断ち切るためとして，マドゥーロ大統領は，自宅隔離中の全ての感染者を即時に医療施設での隔離に変更する指示を出した。また，「マ」大統領は，ベネズエラにおける感染の再拡大を回避するため，国境付近に保健管理部隊を配備する等と発表。

（ク）　８日，マドゥーロ大統領は，新たな死者２名（ミランダ州５８歳，ララ州６３歳），新たにミランダ州で１名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１６７名，死者総数９名，回復６５名）。

（ケ）　９日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たに４名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１７１名，死者総数９名，回復８４名）。

（コ）　１０日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たに４名の感染者が確認されたと発表（感染者総数１７５名，死者総数９名，回復８４名）。

（サ）　１１日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者（及び死者）は確認されなかったと発表（感染者総数１７５名，死者総数９名，回復９３名）。

（シ）　１２日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者６名が確認されたと発表（感染者総数１８１名，死者総数９名，回復９３名）。また，自宅隔離をしている全ての感染者を医療施設で隔離するよう指示した（７日）が，９名がまだ自宅隔離を継続しており，自宅隔離中の感染者は，１２日中に医療施設での隔離に変更しなければならない等と述べた。

（ス）　１３日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者が８名確認されたと発表（感染者総数１８９名，死者総数９名，回復１１０名）。

（セ）　１４日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者４名が確認されたと発表（感染者総数１９３名，死者総数が９名，回復１１１名）。

（ソ）　１５日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者が４名確認されたと発表（感染者総数１９７名，死者総数９名，回復１１１名）。

（タ）　１６日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者７名が確認されたと発表（感染者総数２０４名，死者総数９名，回復１１１名）。

（チ）　１７日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者が２３名確認されたと発表。ヌエバ・エスパルタ州の野球スクールが隔離を実施せず，クラスター感染が発生。（感染者総数２２７名，死者総数９名，回復１１１名）。

（ツ）　１８日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者及び死者は確認されなかったと発表（感染者総数２２７名，死者総数９名，回復１１１名）。

（テ）　１９日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者２９名が確認されたと発表（ヌエバ・エスパルタ州２１名，コロンビアからベネズエラに帰国した者が３名，ミランダ州５名）。マドゥーロ大統領が，１９日よりヌエバ・エスパルタ州において，午後４時から午前１０時までの外出禁止令を発出したと発表。感染者総数２５６名，死者総数が９名，回復１１７名。性別の内訳は男性が１３５名，女性が１２１名。

（ト）　２０日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者２９名及び新たな死者１名を確認したと発表（感染者総数２８５名，死者総数１０名）。新たな死者は６７歳の男性。

（ナ）　２１日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者３名が確認されたと発表（感染者総数２８８名，死者総数１０名）。２０１９年―２０２０年の教育プログラムの補完のため，２１日より，国営放送局（ViveTV）において，初等，中等，高等，大学生のための約１００の教育プログラムを放送すると発表。

（ニ）　２２日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者１０名を確認したと発表（感染者総数２９８名，死者総数１０名）。１０名のうち８名がヌエバ・エスパルタ州の野球スクール内での感染に関連していると言及。

（ヌ）　２３日，マドゥーロ大統領は，新たな感染者１３名を確認したと発表（感染者総数３１１名，死者総数１０名）。１３名全員がヌエバ・エスパルタ州在住であり，同州内の野球スクール内での感染に関連しているとして，規律の下の隔離の確実な遂行を求めると発言。

（ネ）　２４日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者７名を確認したと発表（感染者総数３１８名，死者総数１０名）。同日，マドゥーロ大統領は，２６日及び２７日，ヌエバ・エスパルタ州を除く全国において，子どもと高齢者を対象に試験的に社会的集団隔離を緩和することを決定したと発表。具体的には２６日午前９時から午後６時まで，１４歳以下の子どもは大人同伴のもとマスクを着用し，社会的距離を維持しつつ，自宅から１キロ圏内において外出可能。２７日午前１０時から午後２時まで，同様に６５歳以上の高齢者の外出が可能。

（ノ）　２５日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者５名を確認したと発表（感染者総数３２３名，死者総数１０名）。全員，コロンビアから陸路でベネズエラのタチラ州に入国した者であるとした。

（ハ）　２６日，マドゥーロ大統領は，新たに２名の感染者を確認したと発表（感染者総数３２５名，死者総数１０名）。「マ」大統領は，同日の社会的集団隔離の試験的緩和は，人々が慎重に対応したことでうまくいったとして，５月２日及び３日に更なる試験的緩和を実施すると発表。

（ヒ）　２７日，ホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者４名を確認したと発表（感染者総数３２９名，死者総数１０名）。

（フ）　２８日，マドゥーロ大統領及びホルヘ・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者も死者も確認されなかったと発表（感染者総数３２９名，死者総数１０名）。１４２名が回復。

（ヘ）　２９日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者２名を確認したと発表（感染者総数３３１名，死者総数１０名）。同日，マドゥーロ大統領は，テレビ番組に電話出演した際，隔離（外出制限）措置を今後も継続していく旨発言。

（ホ）　３０日，マドゥーロ大統領及びデルシー・ロドリゲス副大統領は，新たな感染者２名を確認したと発表（感染者総数３３３名，死者総数１０名）。１４２名が回復。また，マドゥーロ大統領は，コロンビアとブラジルがベネズエラへの感染拡大のリスクとなっている旨発言。

**（２）　非常事態宣言の期間延長（５月１１日まで）**

（ア）　１１日，デルシー・ロドリゲス副大統領は，非常事態宣言（３月１３日から３０日間）の３０日間の期間延長を発表。１２日，同延長に関する大統領令が１２日付特別官報に掲載された。

（イ）　１２日，民間航空局は，コミュニケを通じ，行政府の指針に従い，新型コロナウイルスの緊急時におけるベネズエラ国民の安全を保障し，必要な協力を提供するために，４月１２日から３０日間，領土内における航空機の運航の制限を延長する等発表した。

**（３）　米国のベネズエラに関する提案に対する反応，グアイド暫定大統領の動き**

（ア）　１日，グアイド国会議長・暫定大統領率いる国会は，テレビ会議システムを使用した通常審議を開催し，緊急事態計画及び臨時政府の創設を承認。また，身分保障・民主的安定・国家和解にかかる法案を起草することで合意。

（イ）　２日，グアイド暫定大統領は，国軍，国民，国際社会に対して，臨時政府の創設等に関するメッセージを発表。

**（４）　国会における緊急事態計画及び臨時政府創設に関する決議案の採択**

１日，グアイド国会議長率いる国会審議が実施され，緊急事態計画及び臨時政府創設に関する決議案が採択された。主な決議内容は次のとおり。①緊急事態計画（病院関係者に対する支援，脆弱な人々に対する支援，国際金融機関等に対する協力の要請等を含むホセ・マリア・バルガス計画）の実施承認，②国家評議会の召集，ホセ・マリア・バルガス計画の即時の実施を含む臨時政府創設の承認，③国家評議会の召集及び取組への支持，④身分保障法，民主的安定及び国民和解法の草案作成と可決。

**（５）　国家警備軍の一部による軍事蜂起の試み**

２０日未明，ミランダ州の国家警備軍第４４１分遣隊において，同分遣隊指揮官（ムリジョ大尉）が率いる集団が武器倉庫襲撃を試み，諜報機関により同襲撃に関与した複数の軍人が拘束された。

**（６）　ヌエバ・エスパルタ州における政権側の権力の濫用に対する拒絶等に関する国会決議**

（ア）　２１日，グアイド暫定大統領・国会議長が率いる国会は，オンラインで審議を実施し，マドゥーロ政権による重大な権力の濫用を拒絶し，ヌエバ・エスパルタ州及び正統な州知事であるアルフレド・ディアスを支持する旨決議。

（イ） ２０１８年２月，マドゥーロ政権側は，ダリオ・リバス（ＣＬＡＰ委員長）を「ヌエバ・エスパルタ州護民官」に任命。（注：護民官（Protector）は，州知事に代わるものとされているが，憲法には規定されていない役職。）

**（７） 閣僚交替**

２７日付官報を通じて，新石油大臣及び新ＰＤＶＳＡ（国有石油会社）総裁の任命が発表された。新石油大臣には現経済担当副大統領兼産業・国内生産大臣のタレク・エル・アイサミ，新ＰＤＶＳＡ総裁にはアスドゥルバル・ホセ・チャベス・ヒメネス（故チャベス大統領の従兄弟で，ＣＩＴＧＯ前社長）が任命された。

**（８） 政治セクターとの人道的合意等に関するマドゥーロ大統領発言及びグアイド暫定大統領・国会議長の反応**

２８日，マドゥーロ大統領は，新型コロナウイルスの文脈において，ベネズエラ人の平和と健康を保証する合意締結を目的として，改めて全ての政治セクターとの対話を呼びかけた。また，「マ」大統領は，現在の感染拡大の克服フェーズ及び次なるフェーズにおいてベネズエラ国民をサポートすることを目的に，自分は，必要なステップに向けて前進するために人道的合意を締結する用意があると発言。

**（９） その他**

（ア） ２日，グアイドの関係者２名が，国軍諜報局（ＤＧＣＩＭ）に拘束された。グアイドは，直近７２時間の間に少なくとも５名，これまでに１０名の関係者が拘束されたと述べた。

（イ） ６～８日にかけて，カラボボ州バレンシアにおいて断続的な停電が発生。７日，スリア州マラカイボにおいて，最長１７時間に及ぶ停電が各地で発生。１０日夜，少なくともミランダ州，タチラ州，スリア州，メリダ州，ファルコン州，ポルトゥゲサ州，トゥルヒージョ州，バリナス州の８州において停電が発生。

（ウ） ３日付当地紙が，新型コロナウイルスへの感染の他，トゥルヒージョ州においてデング熱の感染が数例確認されていると報じた。

（エ） ９日，ヌエバ・エスパルタ州の護民官が，感染が拡大しているマネイロ市を２４日まで封鎖すると発表。

（オ） ９日，タチラ州の護民官のフレディ・ベルナルは，コロンビア及びエクアドルから約４０００名のベネズエラ人が帰国したと述べた。

（カ） １１日，グアイド暫定大統領は，新型コロナウイルス対策に関するウェブサイトを立ち上げた。１２日，同暫定大統領府は，体制によってサイトが封鎖されたと非難。

（キ） １４日，カラカス統合防衛作戦地区（ＺＯＤＩ）司令官は，一般車の給油はナンバープレートの数字によって曜日を割り振ることを発表。ヌエバ・エスパルタ州他においても同様の措置が既に執られている。

（ク） １４日，国連難民高等弁務官事務所（ＵＮＨＣＲ）は，国外に居住していた６６３０名のベネズエラ人がベネズエラに戻り，予防的隔離中であると報告した。さらに，５００名のベネズエラ人が，国境の宿泊施設で待機中。

（ケ） １６日，グアイド暫定大統領は，公立病院の医療従事者に対して月１００米ドル以上を支給する経済支援を発表。同給付は，数週間以内に開始し，受益者は，ＯＡＳとともに開発された仮想財布（Monedero virtual）を通じて，直接支援を享受できるとした。

（コ） １８日，マドゥーロ大統領は，新型コロナウイルスのパンデミックとそのベネズエラへの影響を鑑み，２０２０年実施予定であった国会議員選挙に関し，実施できるかどうか分からないと述べ，また，最高裁及び制

憲議会が，本年１２月に国会議員選挙を実施するかを検討する権力であると述べた。

（サ）　２１日付ロイター通信は，グアイド暫定大統領・国会議長側とマドゥーロ大統領側が新型コロナウイルスへの感染拡大による影響等にかかる懸念について議論を開始したと報じた。同日，グアイド暫定大統領・国会議長は，自らのツイッターを通じて，右情報は偽りである旨発表。

（シ）　２７日，国防省は，ベネズエラ海軍練習艦の麻薬密輸関与を阻止したとしつつ，右は米国の策略によるもので，拒絶すると表明するパドリーノ国防大臣名のコミュニケを発表。

（ス）　２８日，グアイド国会議長率いる国会は，社会隔離期間に入ってから第６回目となる審議を開催。ボリバル州，アマゾナス州，デルタ・アマクロ州において違法に採掘される金等に関する議論が行われた。

## ２　外交

### （１）　支援関連

（ア）　８日，国連，ＵＮＩＣＥＦ，ＷＨＯ，ＵＮＦＰＡ（国連人口基金）から人道支援物資９０トン以上がベネズエラに到着。同支援物資には，外科用医療用品（医薬品，マスク，防護服，外科器具）及び小児科用ベッド等が含まれるとデルシー・ロドリゲス副大統領が述べた。

（イ）　同日，ロシアからウイルス検査キット２万セットを含む人道支援物資が到着したと副大統領府プレスリリースが明らかにした。

（ウ）　１１日，中国から特別派遣された専門家チームの離任に際する空港での送別が行われた。１０日，習近平中国国家主席とマドゥーロ大統領は，電話会談を通じ，今後数週間で医療技術協力を拡大することで合意したと外務省プレスリリースが明らかにした。

（エ）　１３日，国際赤十字による人道支援物資４６トン（発電機，消毒用機材等）が到着。

### （２）　米国関連の動き

（ア）　１日付コミュニケを通じ，ベネズエラ外務省は，トランプ米大統領，国防長官，司法長官及び安全保障チーム関係者による発表を断固として拒絶すると発表。

（イ）　３日，マドゥーロ大統領は，米軍の軍事展開や対ベネズエラ制裁を許可しないことを求める旨の米国民宛書簡を発表。

（ウ）　８日，エイブラムス米国務省ベネズエラ問題特別代表は，ベネズエラに関するテレビ会議を実施し，ポンペオ米国務長官が発表した移行枠組につき説明した。

（エ）　９日，アレアサ外相は，米国がベネズエラにガソリンを運搬する船舶に対する脅しをかけているとして米国を非難。

（オ）　２２日付当地紙は，エイブラムス米国務省ベネズエラ問題特別代表に対するオンラインインタビューを実施し，「エ」特別代表は，民主的移行の枠組の提案に関し，「野党のみならず社会の様々なセクターで議論されることが希望である。」と述べたと報じた。また，マドゥーロ側もしくは国軍の代表者とのコンタクトについて，「エ」特別代表は，「プライベートメッセージがあっても，我々はそれについて公に話はしない。他方，我々は，第三者を通じて，間接的に，民主的枠組み及びベネズエラの酷い状況を如何に解決できるのかということについて人々が考えているとの確固たる印象を受けている」と述べたと報じられた。

（カ）　２７日，ポンペオ米国務長官とグアイド暫定大統領・国会議長が電話会談。体制側からの圧力及び人道支援物資の阻止について議論。また，「グ」暫定大統領・国会議長は，麻薬密輸及びテロに関してマドゥーロ大統領を非難したと発表。

（キ）　２９日，ポンペオ米国務長官は，記者会見において，マドゥーロが権力から退いたらすぐに在カラカス米国大使館を再開できるだろうと発言。

### （３）　マドゥーロ大統領とプーチン露大統領との電話会談

２０日，マドゥーロ大統領とプーチン露大統領が新型コロナウイルス対策等に関して電話会談を実施。新型コロナウイルスに対する共同の取組，国際情勢に関する分析共有，両国間の協力プロジェクトの進捗について協議。また，マドゥーロ大統領は，新型コロナウイルス検査キットの提供を通じたロシアの支援について，謝意を表明。

**（４） その他**

（ア）１０日，マドゥーロ大統領は，習近平中国国家主席と関係強化及び戦略的パートナーシップに関する議論のため電話会談。

（イ）１３日，マドゥーロ大統領は，二国間関係強化を目的に，ローハニ・イラン大統領と電話会談。

（ウ）１６日，ブラジル政府は，在ベネズエラ・ブラジル大使館及び４つの領事館の閉鎖を発表。

（エ）２２日，先週開催されたマドゥーロ大統領とローハニ・イラン大統領との電話会談の後初めて，両国保健省間でのテレビ会議が開催され，両国間でのパンデミック対応の経験を共有。

（オ）２３日，サハロバ露外務報道官は，米国が発表したベネズエラの民主的移行の枠組の提案を非難。

（カ）２３日，国連安保理は，ロシアの提案を受けて，米国のベネズエラに対する脅威に関し，非公開の会合を開催。

（キ）２７日，マドゥーロ大統領は，ラマポーザ南アフリカ共和国大統領と，パンデミック対応や二国間及び多国間協力に関して電話会談。

（了）